

令和3年度 第1回 日本一の健康長寿県構想推進会議

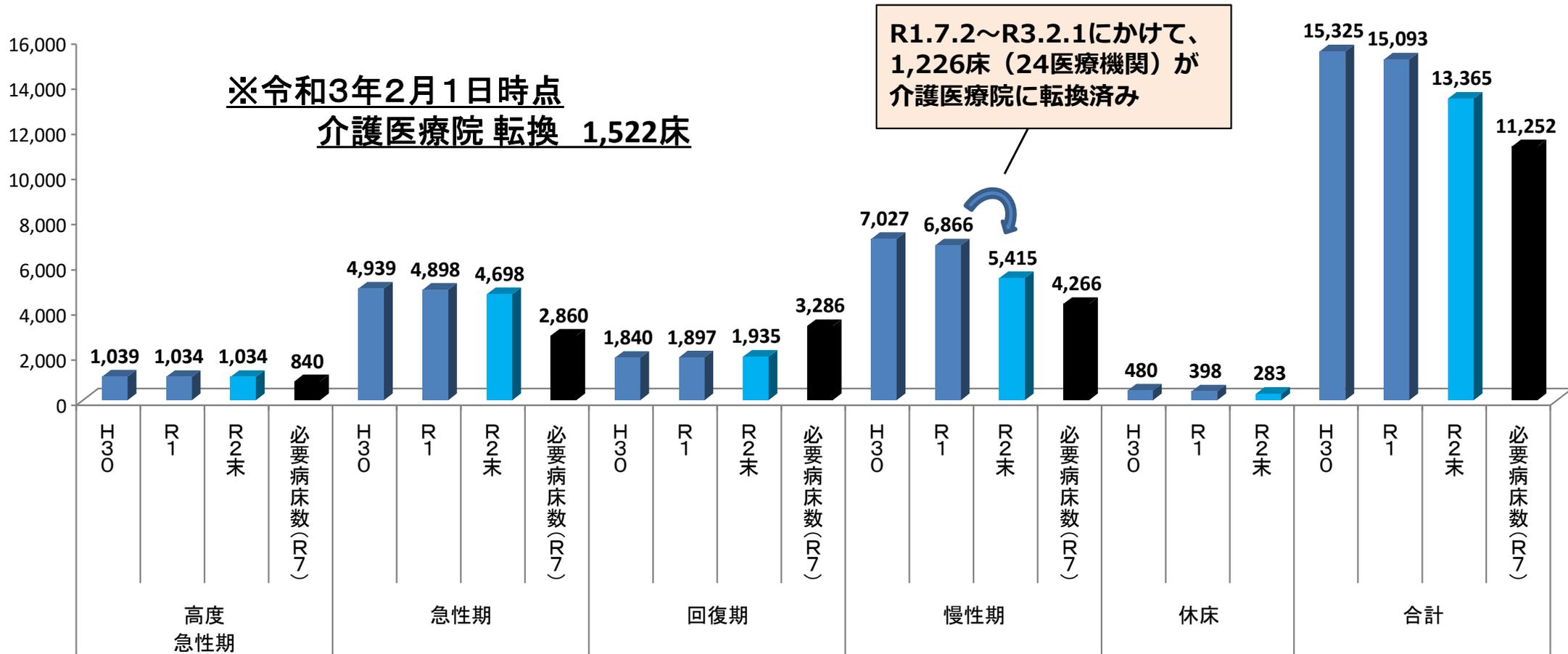
説明補足資料(健康政策部)

日本一の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けられるために

高知県全体の病床の状況について

※ H30の数値は、日本一の健康長寿県構想策定時のもの。 ※ R1の数値は、病床機能報告（各年7月1日）のもの。
 ※ R2末の数値は、R1の病床機能報告の数値に、その後の病床減、病床転換の状況を反映させたもの。



- ・ 令和2年度末時点での高知県の病床数については、介護療養病床から介護医療院への転換が大きく進んだこともあり、慢性期の病床が大幅に減少。
- ・ ただし、令和7年度の必要病床数と比較した場合、依然として、急性期は過剰であり、回復期は不足しており、全体の病床数についても、介護医療院への転換で一定減少したが、過剰な状況となっている。

地域医療構想の実現に向けた病床転換の流れ

R3 時点の病床数
13,365床



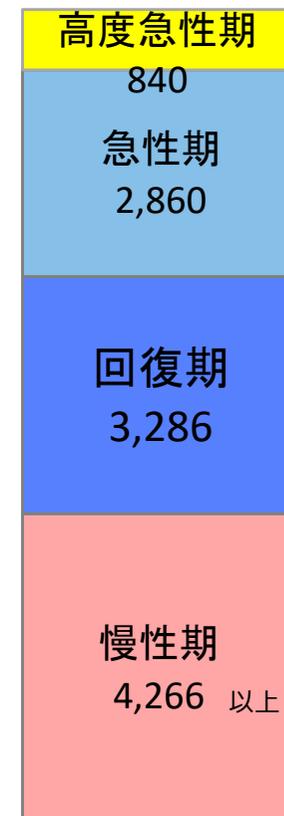
※慢性期については、H30～R2にかけて、1,522床が介護医療院へ転換し大幅に減少

医療機関からの相談に適宜対応し、地域医療構想調整会議等での議論を踏まえ、各医療機関の自主的な転換を補助金等を活用し支援

- ①回復期機能への転換支援
- +
- ②病床のダウンサイジング支援
- +
- ③地域医療構想調整会議等での協議

介護医療院等への転換支援の継続
(R5年度末に廃止となる、介護療養病床については、約9割の転換が完了)

R7 「病床の必要量」
11,252床以上



介護施設
在宅医療等
4,739人

「患者のための薬局ビジョン」 ～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

平成27年10月23日公表

健康サポート薬局

健康サポート機能

- ☆ 国民の**病気の予防や健康サポートに貢献**
 - ・ 要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
 - ・ 健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介 等

高度薬学管理機能

- ☆ **高度な薬学的管理ニーズ**への対応
 - ・ 専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援 等

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導

- ☆ **副作用や効果**の継続的な確認
- ☆ **多剤・重複投薬や相互作用の防止**
 - ICT（電子版お薬手帳等）を活用し、
 - ・ 患者がかかる**全ての医療機関の処方情報を把握**
 - ・ 一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ **夜間・休日、在宅医療**への対応
 - ・ **24時間**の対応
 - ・ **在宅患者**への薬学的管理・服薬指導
 - ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

医療機関等との連携

- ☆ 処方内容の照会・処方提案
- ☆ 副作用・服薬状況のフィードバック
- ☆ 医療情報連携ネットワークでの情報共有
- ☆ 医薬品等に関する相談や健康相談への対応
- ☆ 医療機関への受診勧奨

求められる薬局機能一覧

R3.6.24

		健康サポート機能		かかりつけ薬剤師・薬局の機能				高度薬学管理機能	
		健康相談	受診勧奨	服薬情報の一元管理	24時間対応	在宅対応	医療機関等との連携	専門的な薬学管理	薬局数
県認定 薬機法に基づく許認可	高知家健康づくり支援薬局(H26.9～)	○	○	△	△	△	△	—	311薬局 /398薬局
	健康サポート薬局(H28.10～)	○	○	○	○	○	○	—	16薬局 /398薬局
	地域連携薬局(R3.8～)	—	—	○	○	○	○	—	約40薬局予定 (R3末) 目標100薬局
	専門医療機関連携薬局(R3.8～)	—	—	○	○	—	○	○	1薬局予定 (R3末)

○：必須項目 △：努力義務 —：規定なし